

受入先	商工観光課
隊員氏名	岩崎泰依
着任日	平成30年10月1日

活動月	平成30年12月（着任3カ月目）
主な活動	国際交流研修、他地域伝統的建築物群視察 など

1. 国際交流を通じて食について考える

12月は国際交流関係のイベントや研修に参加する機会が多くありました。いろいろな国の方にお話を伺う中で、外国の方が異国の日本で生活したり旅行をする中で食というのは大きな役割を持っていると考えます。私は以前ベジタリアン専門の飲食店で働いていた経験があり、その際も多くの海外のお客様をお迎えしました。まだまだ日本ではベジタリアン、ハラールなどに対応している飲食店も少ないのでお困りの様子でした。南九州市は食材もかなり豊富で工夫次第で食の面でのインバウンド誘致において先進的な地域になれると考えています。これらのベジタリアン食、ハラール食は特別難しく考える必要もなく普段作っているものをアレンジするだけで出来るヘルシーで安全なものでもあります。もちろん非ベジタリアン、非ハラールの我々が日常食べてもおいしいと感じるものばかりです。宗教や思想、アレルギーなどで食に制限のある人、無い人、みんなが同じ一つのテーブルで楽しく食事を楽しめる、そんな観光地づくりを目指して行きたいと思います。



2. 歴史的建造物の視察研修で思ったこと

福岡県八女市へ伝統的建造物群保存地区における空き家・空き地などの活用法についての研修に行かせていただきました。古い酒蔵を活用した実際に建物内を気軽に見学ができゆっくりと休憩ができるビジターセンターの整備や伝統工芸館、民俗資料館、体験もできる和紙資料館などが無料で入場でき展示で工芸品の作り方を学べると同時におみやげとして購入できるシステムづくり、町家の商店や飲食店などを利用すれば中を見学することができるので町全体が博物館のような雰囲気の特筆する観光地がなくても1日観光を楽しむことが出来、そのためにランチマップや街の歴史などもわかりやすく盛り込んだ手描きのマップなどを作成し若いお客さんも古い町並みを楽しめる工夫を多く感じ勉強になる点が多かったです。一方同じく伝統的建造物群を要する知覧は八女の商家が多く古さと新しさが混在した柔軟性の高いまちとは対照的ではありますが武家文化が色濃く残り不変的で華美ではないけれど厳然たる清らかさを感じられる現代において希少性の高いまちだと再確認することが出来ました。今あるものの良さを理解し最大限のアピールが出来るよう努力していきたいと思えます。

